

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	広報に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	3	
政策	41計画の実現のために	担当課室	秘書広報課			
施策	411地方分権と市民参加の推進	担当課室長	斉藤 実			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	広報:引き続きレイアウト等の工夫により、読みやすく親しみの持てる広報紙とする。 ホームページ:引き続き障がい者や高齢者でも必要な情報を入手でき、見やすく、分りやすいホームページとする。情報発信の多チャンネル化を図るため、SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)のフェイスブックの公式アカウントを開始する。	③平成26年度に取り組む改革・改善内容	広報:紙面の一部カラー化を行い、レイアウト等の工夫により、読みやすく親しみの持てる広報紙とする。 ホームページ等:必要な情報を入手でき、見やすく、分りやすいホームページとする。ツイッター、フェイスブックの掲載内容の充実を図る。
②①に基づく取り組み結果	広報:引き続きレイアウト等の工夫を行った。 ホームページ等:フェイスブックの公式アカウントを開始した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	広報:市内全世帯 ホームページ等:市民	意図(対象をどうするのか)	広報・ホームページ等の特性を活かし、子どもから高齢者まで、多くの市民に行政情報などを提供する。
②事務事業の概要	市の施策や行事又は市民の自主的活動などの市民生活を営むうえで、必要な情報を広く知らせるとともに、市政への理解と協力を得るために広報紙を発行する。また、緊急性のある行政情報など、ホームページ等で情報提供を随時行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	広報:昭和32年5月1日から発行。ホームページ:平成10年9月1日から開始。ツイッター:平成23年4月11日から開始。フェイスブック:平成26年2月3日から開始。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果		「広報かまがや」を毎月1日号(12回)と15日号(12回)の年24回発行し、新聞折込みにより各世帯に配布した。なお、新聞未購読世帯に対しては、公共施設等へ広報を配置するとともに、希望者には個別に広報を郵送した。また、緊急性のある行政情報など、ホームページ等で情報提供を随時行った。フェイスブックの市公式アカウントを平成26年2月3日から運用開始した。					
②成果を表す指標		指標名称	平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	広報発行回数	24	24	24	回	業務取得
	ii	広報発行部数	39,000	39,000	39,000	部	業務取得
	iii	ホームページ更新件数	1,082	1,237	1,366	件	業務取得
③事務事業のコスト		平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算	
事業費(千円)		19,204	18,724	金額(千円)		内容	23,575
	国支出金(千円)			10,094		広報編集印刷委	
	県支出金(千円)			6,459		広報新聞折込委	
	市債その他(千円)						
	一般財源(千円)	19,204	18,724				23,575

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	広報:より多くの市民が閲読できる環境(配布・配置等)の整備。 ホームページ:障がい者や高齢者へのアクセシビリティの検討・改善。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	2普通	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通		
③上記評価の理由	市民に行政情報などを公平に提供し、市民と行政が情報を共有する必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画		平成25年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額			決算額		
②計画に対する事業実績			0	当初		0	H24からの繰越	
③達成状況				H24⇒25繰越				
④未完了・非着手の理由				補正			現年分	
				流用・充当				
		平成26年度への繰越額(単位:千円)						